

いかるが

No.71

# 議会だより

発行 斑鳩町議会  
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号  
電話 0745-74-1001  
FAX 0745-74-1011  
電子メール: gikai@town.ikaruga.nara.jp  
発行人 議会議長 嶋田 善行  
編集 広報発行常任委員会

平成24年(2012年)2月1日



法輪寺 ふくべん はちべんれんげ もんのきまるがわら 複弁八弁蓮華文軒丸瓦  
(斑鳩文化財センターの冬季企画展[2月23日～3月27日]に展示予定)

## 12月定例会

- 12月定例会ではこんなことが決まりました…………… ②ページ
- 政府関係機関に意見書を送付…………… ③ページ
- 7人の議員が一般質問を行いました…………… ⑤ページ
- 委員会のうごき…………… ⑩ページ

# こんなことが 決まりました

平成23年第5回臨時会が11月28日に開かれ、斑鳩町の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について等について審議しました。また、平成23年第6回定例会が、12月5日から22日までの18日間の会期で開かれ、斑鳩町暴力団排除条例についてなど、14議案を可決等しました。その他、陳情2件について審議し、下記の結果となりました。最終日には条例改正1件と意見書2件が提出され、それぞれ下記の結果となりました。

11月臨時会の案件		結果
条例	斑鳩町の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	満場一致で可決
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	報告
	議会の委任による町長専決処分の報告について（平成23年度斑鳩町一般会計補正予算（第3号）について）	

12月定例会の案件		結果
条例	斑鳩町暴力団排除条例について	満場一致で可決
	斑鳩町暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	
	斑鳩町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	
	斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について	
予算	平成23年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)について	賛成多数で可決
	平成23年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	満場一致で可決
	平成23年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	
	平成23年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	
	平成23年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)について	
契約	平成23年度斑鳩町公共下水道管渠築造工事請負契約の締結について	満場一致で可決
その他	三郷町公共下水道施設を斑鳩町住民の利用に供することについて	満場一致で可決
	斑鳩町公共下水道施設を三郷町住民の利用に供することについて	
陳情	要望書について	不採択
	「介護職員処遇改善交付金の継続」を求める意見書採択を求める要請書について	採択
意見書	「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書について	満場一致で可決
	政党助成金を廃止して、東日本大震災被災者救援に使うことを求める意見書について	賛成少数で否決

4ページに賛否の討論

10ページに関連記事

3ページに意見書

4ページに賛否の討論

## 議会の議案書を読覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。それぞれの議案について、詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しください。

TEL74-1001(内線302)

# 政府関係機関に 1件の意見書を送付

12月定例会では、「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書が可決され、政府関係機関に意見書を送付しました。

## 「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書

平成24年4月に介護報酬の改定が予定されており、厚生労働省介護保険部会で審議がされているところです。超高齢社会を迎えて、介護を担う介護職員の不足が深刻で、その処遇改善の必要性が社会問題化した平成21年度、麻生内閣によって創設された「介護職員処遇改善交付金事業」は、平成23年度末で終了するものとなっています。

来年度の介護報酬改定にあたり、この「介護職員処遇改善交付金事業」を継続するのか、処遇改善に相当するものを介護報酬に組み込むのかが大きな焦点といわれています。

私たちは、次の2つの理由から、税金を投入している現在の「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求めます。第一に、介護報酬の中に組み込めば、介護報酬の約2%に相当するといわれ、当然、介護保険料の引き上げ、利用料の増大に結びつきます。第二に、介護職員の処遇改善はいまだ改善された状況になく、離職者が依然として高い状況が続いています。また、事業者は介護職員の確保に苦慮しています。

介護報酬に組み込んだ場合、職員の処遇改善に結びつく保障がなくなります。介護報酬のアップ分を処遇改善に充てるか否かは事業者の判断次第ということになってしまいます。

つきましては、以上の主旨から、国ならびに関係機関におかれましては、「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続するために尽力していただくことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月22日

奈良県斑鳩町議会

### 議会の日程

2月

- 17日(金) 建設水道常任委員会
- 20日(月) 厚生常任委員会
- 21日(火) 総務常任委員会
- 22日(水) 予算決算常任委員会
- 23日(木) 議会運営委員会

### 平成24年第1回定例会

3月

- 1日(木) 本会議初日(委員長報告、提案説明、議案上程)、※広報発行常任委員会
- 6日(火) 一般質問
- 7日(水) 一般質問
- 8日(木) 予算決算常任委員会
- 9日(金) 予算決算常任委員会
- 12日(月) 予算決算常任委員会
- 13日(火) 建設水道常任委員会
- 14日(水) 厚生常任委員会
- 15日(木) 総務常任委員会
- 16日(金) 予算決算常任委員会(補正予算審査)
- 19日(月) 議会運営委員会
- 23日(金) 本会議最終日  
(委員長報告、討論、表決)

◇開会時間は2月23日(木)、3月15日(木)・19日(月)は午後1時30分、その他の日程は午前9時を予定しています(※は本会議終了後)。

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL 74 1001 内線302

## 平成23年度斑鳩町一般会計補正予算（第4号）について

### 【反対意見】 木澤議員

今回の補正予算のなかで問題があると考えているのは、保育園の給食・調理洗浄業務委託についてです。

保育所の給食は、小中学校以上に一人ひとりの子どもに対し丁寧な対応が必要になります。個別のアレルギー対応食を作ることはもとより、ゼロ歳児への離乳食やまた幼児食など発達段階に応じた一人ひとりの子どもに対しての調理が求められます。ですから、町採用の給食調理員により子どもたちの体調などにも気を配っていただける直営体制のほうが望ましいと考えます。

町は、給食調理員など臨時職員の確保が大変だと言います。しかし、臨時職員は何年働いても昇級はありません。さらに以前に町は臨時職員の時給を一律10%カットするなど、臨時職員に厳しい対応をしてきました。そうした町の姿勢が人材確保の障害になっているのではないのでしょうか。このような実態があるなかで、人材確保がきびしいからと、今いる給食調理員の数を減らしてまで民間委託をすすめ、安易に問題を解決を図ろうとするそのやり方については、納得ができません。なぜ、臨時職員の確保でここまで苦勞するのか、その点をもっと追求し、斑鳩町として質の高い保育を保っていただくことを強く要望いたします。

### 【賛成意見】 小林議員

今回の補正予算は、障害者介護給付・訓練等給付費や保育所の広域入所委託料の増額、老人憩の家の屋根改修等の費用、さらには、待機児童を解消するためのあわ保育園の改装等に要する費用など、子育て支援の充実や町民の皆さんの生活に密着した予算が盛り込まれています。

また、保育園の給食調理・洗浄業務を民間事業者に委託するための債務負担行為の補正予算については、小学校や中学校においても、すでに導入され数年経過していますが、適切に運営されていると考えます。

保育園における導入についても、担当常任委員会や本定例会中の理事者からの説明や答弁では、保護者会への説明も行い、子ども一人ひとりの離乳食やアレルギーへの対応なども適切にさせていただき、また、保育園行事の協力など、いままでと同様の対応をしていただけるよう考慮されており、町の考えは理解できるものです。

なお、弱い立場の臨時職員のことにも配慮をしていただくことを付け加えお願ひし、平成23年度斑鳩町一般会計補正予算（第4号）に賛成します。

## 政党助成金を廃止して、東日本大震災被災者救援に使うことを求める意見書について

### 【反対意見】 飯高議員

政党助成金は、国民の皆様の貴重な税金などの財源で賄われており、用途については、国民の皆様の信頼を損なうことのないよう、各政党が責任を自覚し、法律に基づく運用をしていかなければなりません。

意見書では、「違法性の高い残金は、直ちに返還を求め」とのことですが、現行の法律により執行されています。また「返納と廃止によって確保した税金は東日本大震災被災者救援に充てる」とのことですが、政党助成金は、この法律の目的に沿った使い方をしており、これを財源に充てることは、あまりにも性急であると考えます。東日本大震災被災者救援と結び付けるのは、別の次元で考えるべきです。また復旧・復興財源として、すでに、半年間で、衆参両院の国会議員の歳費（給与）を1人当たり300万円（月額50万円）削減し、実施されています。

しかしながら、復旧・復興に向けた財源は、限りなく必要となることから今後も、議員自らの身を削る思いで、被災者救援の財源のため、「国会議員一人ひとりの歳費削減の継続」を進め、また「国会議員定数削減」も視野に入れながら被災者救援のための財源的寄与となるよう、早急に実施することが、先決ではないかと考えます。

### 【賛成意見】 里川議員

私は基本的に、政党は本来、自らが集めた資金で運営すべきであると考えている。各党の用途等報告書にも疑問もある。民主・自民・公明など、国民に所得税などの復興増税や消費税増税を押し付けるために、「国会議員も身を切る」などと言っているが、政党助成金の返上はしない。国民への増税の前に返上すべきである。

赤ちゃんからお年寄りまで、1人250円、319億4199万円も支出されている。2010年の国勢調査で、約28万8000人の人口増となり、2012年度から7200万円増額される。2011年には、東日本大震災や台風12号などにより、多くの方が亡くなり、行方不明になり、国勢調査の人口は大きく変動しているのに、今後5年間、間違った数字のまま増額して支払われるのは問題である。また、基金への溜め込みも問題である。使い残した政党助成金は、貴重な税金だから国庫に返還するのが原則。しかし、各党は「基金」など抜け道を使って溜め込んでいる。基金額は民主党で44億628万もある。政党助成金を選挙の供託金に充てるケースもあり、税金で選挙に出て、一方では政党に所属していなければ、自分で何とかして用立てるしかないのは問題である。

# 一般質問 Q &A

本定例会での一般質問は、12月8日・9日の両日、7人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

2日間で延べ12人の方が傍聴に来られました。

## 町営住宅ストック計画の見直しで住宅供給の改善を



飯高 昭二 議員

**議員** 今後、町営住宅は、住宅に困窮する方々の居住の安定・住環境の質や耐震などの安全性の確保と将来の住宅供給のあり方を考えていく必要があります。平成19年6月議会的一般質問で「住宅供給について」質問し、町として民間住宅の借り上げ、また買い取りの供給方式を視野に入れ検討することでしたが、今回の見直しで、どのように考えられているのか伺います。

**都市建設部長** 住宅供給については、来年度、公営住宅長寿命化計画を策定するなかで、目標供給戸数についての見直しを行う予定です。また新規の住宅建設が厳しい状況のなか、住宅供給については、民間住宅の借り上げ方式なども含め検討していきます。

**議員** 「住宅に困窮する方々への居住の安定供給のため」、民間住宅の確保と改善を早期に進めるよう要望します。

河川環境が「悪化する前」に定期的な河川管理を

**議員** 最近、河川環境が悪化させる原因となっているのが、土砂の堆積と雑草、さらに水質の汚濁で悪臭や害虫が発生し、地域の住宅周辺から苦情がありますが、「河川の土砂の除去が定期的の実施されていない理由」について伺います。

**都市建設部長** 河川の土砂等の堆積は、河川管理基準により、河川断面の20%を超えた場合には、計画的に土砂を除去することになっています。町内の県管理河川では、土砂



▲三代川とイツボ川の合流点

**議員** 現在斑鳩町では、小学校1、2、3年生、中学校1年生で30人学級を実施されています。多くの保護者や教員などから「クラスの雰囲気が悪くなった」「子どもたちが目が行き届くようになった」と喜ばれています。また、全国的に少人数学級が広がるなか、文科省が来年度で小学校2年生まで35人学級を拡大するという予算要望をしています。ぜひ斑鳩町では、小中学校全学年で30人学級を実施し

## 30人学級の拡大を



木澤 正男 議員

の堆積が河川断面の20%を超えているところはないと聞いています。しかし今年度においては、県と調整を図るなか一部の河川で土砂の除去工事を実施する予定です。

**議員** 今後「河川環境が悪化する前」に計画的な河川の維持管理や定期的な土砂の除去等の対策が必要と考えますが。

**都市建設部長** 良好な河川環境を維持していくために、定期的な河川管理を、管理者である県に要望していきます。

### その他の質問

※地域防災の充実について  
※疾病予防・健康増進と各種予防ワクチンの状況について

ていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

**教育長** 町としても30人学級編成は効果があると考えています。しかし、予算との関係や教室数の問題などがあり、これらの課題に対して解決策を見出すなかで検討していきたいと考えています。

**町立保育所の来年度の対応と今後の方向性**

**議員** 来年度の入所申込み状況とそれに対する町の対応についておたずねします。

**住民生活部長** 現行の面積基準による受入れ可能児童数に対し、ゼロ歳児で11人、3歳児で9人が上回りました。

現在、ゼロ歳児1人については4.95㎡という基準でしたが、県に相談したところ国の基準である3.3㎡でも問題ないと回答があり、できるだけ待機児を出さないという方向でゼロ歳児を受け入れることにしました。

また、来年度の入所申込状況から考えると新たに保育士が7名必要になってきます。現在行っている試験では4名

の採用を予定しています。

**議員** 足りない分は臨時の保育士で対応することになりませんが、応募の少ない状況を改善し、保育士を確保していただきたい。また、今後の保育所運営についても、面積基準や行政の責任を守り、なおかつ、待機児は出さないというこれまでの町の姿勢を堅持していったいただきますよう強く要望します。

**その他の質問**

※観光ボランティアの要望に応えて、観光の発展をめざすべきではないか。



**どうなる平成24年からの介護保険制度**



里川 宜志子 議員

期計画では検討期間として、総合サービスは行わないことになった。

**議員** 総合サービスでは、内容が十分にわかっていないこともあり、現在受けているサービスの供給が低下するおそれも考えられることから、行わないほうがよいと思う。

また、保険料の問題も、被保険者の皆さんには重要なことであるが、どの程度値上がりするのか。

**住民生活部長** 平成24年度から平成26年度の3年間における給付量の見込みに対して、保険料の概算をするが、現在、各種の数値の積算中で、12月27日に開催する介護保険運営協議会に諮り、決定していきたい。

また、所得に応じた保険料段階の設定についても、さらに検討していきたいと考えている。

**議員** 国の見込みでは、保険料は標準月額が5千円を超えるととなっている。近隣の町でも、8百円上がると試算されている。保険料の軽減を図るための方策として、県にある財政安定化基金の取り崩しを

すると言われているが、32億円を超えるこの基金の運用は重要である。国・県・町が3分の1ずつ拠出した基金のうち、町の分は保険料軽減に用いられたとしても、県の分と国の分はどうなるのか。

**住民生活部長** 県のほうに、再三、確認をしているが、現段階ではまだ決まっていないという回答しか得られない状況である。

**議員** 平成24年4月からスタートする問題なのに、市町村も困難なことだが、被保険者の皆さんにわかりやすくお知らせするよう努めてほしい。



# 「地域の絆」は 自治会活動から



小野 隆雄 議員

**議員** 自治会活動とは「良好な地域社会の維持及び形成に資する活動」とされています。

自治会活動に対する実態の把握と、その認識を問う。

**総務部長** 平成22年11月に自治会の活動内容、役員の選出方法や任期、集会所等に関するアンケート調査を実施しました。

その自由意見欄では、自治会離れや役員選出方法など、様々な課題にご苦労されていることが記載されています。

地域コミュニティとしての自治会の役割はたいへん重要であり、また東日本大震災を機に、地域のつながりの大切さが叫ばれており、災害時での対応など自治会活動は、安心のまちづくりには欠かせないものであることから、自

治会への加入促進のPRや「地域の絆」の大切さを啓発することにより、自治会活動を支援します。

**議員** 集会所等を拠点として、その活動の活性化をはかっている自治会も増えていきます。

平成3年に法整備された地縁団体設立への対応を問う。

**総務部長** 自治会等が一定の手続きの下「認可地縁団体」として法人格を取得できることに地方自治法が改正されました。法改正の趣旨に鑑み、適正な財産管理を行うために、この制度の周知が必要と考えています。今後とも様々な機会を通じて啓発を行い、地縁団体の設立を促進します。

**議員** 地縁団体の設立は、単に適正な財産管理に資するだ

けでなく、会則等の整備により円滑な運営に寄与し、輪番制の役員にとっても職務の推進に役立ちます。

今後、集会所等の補助金交付条件として、補助対象物件の明確化のためにも「登記の義務付け」を規定し、地縁団体の設立が増加し、自治会活動の活性化につながることを提案します。

## その他の質問

※自治会連合会の設立経緯と町の関わり方について

※街区基準点の補助点・節点の管理・保全について

※低入札価格調査制度の意義と実施状況について

※入札予定価格事前公表の導入経緯と、建設工事以外への事前公表について



## 議会を傍聴してみませんか！

斑鳩町議会では、「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。

また、本会議の会議録は庁舎ロビーや公民館、斑鳩町立図書館でも閲覧できます。

みなさんのご意見やご要望をお寄せください。

(宛 先) 〒636-0198 斑鳩町法隆寺西3-7-12

斑鳩町議会事務局

TEL 74-1001 FAX 74-1011

役場3階・議会事務局前に、ご意見箱「こだま」を設置しています。



議会は役場3階です

▲議場



◀議場内の傍聴席(39席)

## 国道25号の歩道設置 について



中川靖広 議員

でも、同時に整備されますことを強く要望します。

### 斑鳩町の犯罪発生状況と今後の防犯対策について

**議員** 町内での犯罪件数についてお尋ねします。

**総務部長** 町内での平成23年の犯罪件数は、11月末で212件で、前年同期の犯罪件数208件と比べて、4件の増となっています。

**議員** 犯罪の内容についてお尋ねします。

**総務部長** 主な犯罪として、オートバイ・自転車の盗難が54件、車上部品狙いが49件、住宅への侵入が11件、事務所等への侵入窃盗が10件、ひったくりが3件です。

**議員** 犯罪が発生している地域についてお尋ねします。

**総務部長** 斑鳩交番が管轄する区域が84件、法隆寺駅前交番が113件、法隆寺駐在所が15件となっています。

**議員** 町としての対策についてお尋ねします。

**総務部長** 斑鳩町では、町民の安全意識の高揚と自主的な安全活動を推進するため「斑

鳩町安全で住みよいまちづくりに関する条例」を制定し、毎年「身近な犯罪から家庭を守る町民集会」等を開催し、住民の皆様へ「地域の安全は住民自身で守る」ことの必要性についての啓発に努めています。また、広報紙に斑鳩交番だよりを連載し、犯罪の傾向や対処法の周知をはかっています。



**議員** 騒音について、早朝より大音量でラジカセを鳴らし、多くの人が迷惑されている事例があるので、やめさせる方法はないのか。

**住民生活部長** 騒音の規制は「騒音規制法」という法律があり、工場、事業所、建設工事、自動車騒音によるもの、深夜における飲食店営業等や拡声機による騒音等の規制のみとなっています。また、斑鳩町環境保全条例でも「何人も、近隣の静穏を害するような騒音を発生させないよう努めなければならない」と定めており、基本的には、騒音規制法に定められているほか、通常の事業活動や生活を営むにあたり発生する騒音を想定したものです。

隣接する家にスピーカーを

## 生活環境の保全と整備を



宮崎和彦 議員

向けて大音量で鳴らしているといった事例については、騒音というよりも意図的に発生させている音です。騒音問題というより、他人への迷惑行為の要素が強く、騒音発生の本質的原因を取り除くことが問題解決につながると思われますので、当事者同士が話し合いにより解決されるか、出来ない場合は、民事手続きにより解決を図っていただくほかにないと考えます。



議員 三代川、中宮寺前交差点、県道天理斑鳩線の進捗状況について。

都市建設部長 三代川改修事業の進捗状況は、引き続き用地交渉が行われていますが、移転先の選定問題、JR本線横断部の構造及び工法について協議が長引いています。

中宮寺前交差点は、基本的な形態案は作成していますが、関係機関等との調整や協議を行っていくと聞いています。

県道天理斑鳩線について、富雄川安富橋から自動車整備工場前の区間で、用地交渉が全てまとまり地権者と契約の締結ができ、近々工事発注されると聞いています。

### その他の質問

※道路の下水道工事について、私道と町道他道路との違い。

※補償について、いつから始まり、終わるのか。補償要望に利用されていない土地など、町の考え方は。

## ISO14001の運用について



議員 吉 晴 伴

下回っており、平成18年度から22年度までの5年間で、1200万円の経費が削減できています。

一方、ISO14001の認証を維持するため、毎年1回の外部審査の受審が必要で、過去5年間の運用に関する経費は約290万円です。

議員 4年前に質問したときは、平成14年から18年までの約5年間で1330万円の経費削減であったことから、ISO14001の効果は取得時に大きく表れましたが、現在は経年による惰性になっていないか伺います。

住民生活部長 斑鳩町では、研修、内部監査を通して、職員意識を常に高いレベルで維持しています。今後もシステム運用が惰性とならないよう努めてまいります。

議員 平成15年当時と比較すると、他の自治体のISO14001の認証取得件数が半分以下となっています。斑鳩町も更新せずに、今まで得たノウハウで自己管理に切り替えることは考えられないのですか。

住民生活部長 斑鳩町の場

合、現在のシステム運用経費は、外部審査費用のみであり、仮に自己宣言に移行したとしても、他の自治体のように大幅な経費削減は見込めず、費用面から見ると、外部審査をやる、自己宣言するメリットはあまりないと考えています。

### その他の質問

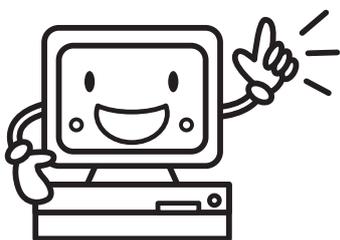
※税における不納欠損に対する町の見解を問う。

### ミニ解説「ISO14001」

企業や自治体などが、組織として環境問題への取り組みを継続的に進めていくことを約束し、実行するための仕組み(環境マネジメントシステム)についての国際標準規格です。

斑鳩町役場は、平成15年2月に「ISO14001」の認証を取得し、環境にやさしいまちづくりをすすめています。

## 議会だよりが斑鳩町ホームページで閲覧できます。



斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp>)で、町議会をクリックしてください。

NO.52 (平成19年5月1日発行) からのバックナンバーも閲覧できます。

# 建

## 設水道常任委員会

開会中の12月13日に委員会を開催し、本会議から付託を受けた4議案について審議しました。

また、都市基盤整備事業に関することについてなど、継続審査案件について調査しました。

その主な内容について報告します。

### 委員会付託議案

◎議案第45号 平成23年度斑鳩町公共下水道管渠築造工事請負契約の締結について

岡本汚水幹線2工区工事の入札を行い、契約対象となる応札額が低入札調査基準価格を下回ったため、調査を実施。調査の結果、契約の内容に適合した履行がされると認められるため、株式会社竹中土木奈良営業所と5億6,175万円で工事請負契約の締結すると説明がありました。

(結果) 満場一致で可決。

◎議案第46号 三郷町公共下水道施設を斑鳩町住民の利用に供することについて

斑鳩町と三郷町の行政区境界(龍田西地区周辺)に設置された、それぞれの公共下水道施設を相互に有効利用し、効率的に公共下水道の整備を図っていくと説明がありました。

(結果) 満場一致で可決。

◎都市基盤整備事業に関することについて

① 公共下水道事業に関することについて  
龍田西6丁目・稲葉車瀬地内では、舗装復旧工事が完了し、その他の各路線についても順調に進んでおり、11月末現在の接続状況は2,429件であると報告がありました。

② 都市計画道路の整備促進に関することについて

◎陳情第6号 要望書について

斑鳩町商工会に対する助成金の増額について配慮されたいとの要望でした。  
前年度の収支決算書や近隣市町村の補助状況等を資料として審議した結果、補助金の増額は認められないという意見でまとまりました。

(結果) 満場一致で不採択。

### 継続審査案件

#### 先進地を視察

10月25日と26日に、先進地視察研修を行いました。

香川県多度津町では、公共下水道の接続率向上対策について研修しました。

また高松市では、高松市観光ボランティアガイドの活動について現地で説明をうけるなど、観光振興について研修し、今後、斑鳩町の観光施策の発展をめざすうえで、参考となりました。



→高松市内で研修

### 各課報告事項

○一般国道25号斑鳩町歩道整備設置事業について

現在進められている歩道整備事業(猫坂〜竜田大橋バス停)について、国が、竜田大橋バス停からイオンショッピングセンターまで延伸して整備されることになったと報告がありました。

(紀委員長記)

12月14日全委員出席のもと、本会議から付託を受けた議案を審議しました。また、継続審査案件についてなど調査しました。その主な内容について報告します。

# 厚生常任委員会

## 委員会付託議案

◎陳情第7号「介護職員処遇改善交付金の継続」を求める意見書採択を求める要請書について

介護職員の処遇改善を図るため、平成21年度に設立された「介護職員処遇改善交付金」が、平成23年で終了するため、平成24年度以降も継続を求める意見書を国に対して提出してほしいという内容の要請でした。

委員からは、

- ・医療や介護の現場で働く人の環境が大切であり、この制度を継続すべきと考えらる。

・国に対して、介護職員の処遇改善を要望すべき。などの意見がありました。

(結果) 満場一致で採択すべきものと決しました。

また、意見書を委員会発議で提出しました。(意見書を3ページに掲載)

## 継続審査案件

◎環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

平成24年4月からの可燃ごみの委託処理が導入されることに伴い、可燃ごみの積替え作業を行うための仮設施設工事の施工業者の決定と工程について報告がありました。

委員からは、

- ・異物混入により、ごみ収集車の火災が発生する事故が起きており、住民の皆さんに、より一層、ごみの分別を徹底していただくよう呼びかけて、安全対策に万全の体制をとってほしい。

・ごみ積み替え施設の建設にあたり、地元調整はきちんとしていくか。などの意見・質問があり、理事者から答弁がされました。

### 平成24年4月からの可燃ごみ委託処理に伴い 関連施設の現地調査を実施

11月22日、可燃ごみの積替え作業を行うための仮施設設工事が行われる予定の斑鳩町最終処分場で現地調査を行い、町職員から工程について説明を受けました。また12月14日午後、可燃ごみ処理委託に係る委託先の受入体制及び処理施設等について現地調査を実施しました。

処理委託業者は、三重県伊賀市の三重中央開発(株)で、持続型資源循環社会を目指したりサイクル事業を行っていること等説明を受けました。



→三重中央開発(株)の三重リサイクルセンターを現地調査

## 各課報告事項

### ○国民健康保険税等の夜間・休日納税相談の実施について

平日の日に中に来庁できない方のために、3月まで夜間・休日の納税相談窓口を開設すると報告がありました。

その他、委員より  
・子育てシステムのこれから  
の考え方について  
・将来の幼稚園・保育所の受け入れについて  
・平成24年度以降の年末年始  
のごみの持込について  
など、質疑・意見がありました。

(宮崎委員長記)



## 総務常任委員会

12月15日全委員出席のもと、本会議から付託を受けた議案を審議した結果、いずれの議案も原案どおり可決すべきものと決しました。また、各課報告事項として諸報告を受けましたので、その主な内容について報告します。

### 委員会付託議案

#### ◎議案第36号、斑鳩町暴力団排除条例について

社会から暴力団を排除する気運を更に高めるため、斑鳩町暴力団排除条例を制定し、住民や事業者、そして町との連携を一層強化し、社会が一体となった取り組みを充実させていくと説明がありました。

委員から、祭り等における暴力団への対応について等、質疑がありました。  
(結果) 満場一致で可決

#### ◎議案第37号、斑鳩町暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

(結果) 満場一致で可決

#### ◎議案第38号、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

(結果) 満場一致で可決

#### ◎議案第39号、斑鳩町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

(結果) 満場一致で可決

### 継続審査案件

#### ◎斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関する条例について

「国宝藤ノ木古墳里帰り展」を斑鳩文化財センターで11月に開催し、2493名の来館者があったことなどが報告されました。

委員から、アンケート調査で来館の動機について質疑があり、法隆寺や藤ノ木古墳の観光客が斑鳩文化財センターに来館される方が多くなっているのは、案内看板等を整備してきた効果が現れてきているのではという回答がありました。

### 各課報告事項

#### ◎町立幼稚園の保育料据え置きについて

平成24年度の保育料は国の基準どおりに改定すると、月額6300円になるが、現在の厳しい経済状況を考慮し、

### 先進地を視察

10月27日と28日に、先進地視察研修を行いました。  
兵庫県佐用町では、平成21年の台風9号による豪雨で甚大な被害を受けられた後の復興と、現在取り組まれている防災施策について研修を深めました。  
また、広島県竹原市では、「協働のまちづくり」について研修し、今後、住民のみなさんと力を合わせてまちづくりをすすめるうえで参考となりました。



→佐用町・防災室で視察研修

### その他

◎斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について

◎神奈川県小田原市との都市間交流に関する協定について

◎職員採用試験3次試験結果について

◎町立幼稚園教諭の採用について

などの報告に対し、質疑・意見があり、町から一定の回答があり審議を深めました。  
(伴委員長記)

閉会中の11月25日(金)と開会中の12月16日(金)に5名の委員出席のもとと委員会を開催しました。



## 算決算常任委員会

### 委員会付託議案

付託された5議案は可決

人事院勧告に基づく人件費の減額調整と、人事異動に伴い、各課で人件費に変更が生じることや、共済組合の掛け率の変更などにより、各会計に補正が必要となつています。

◎議案第40号 平成23年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)について

新たに交付金などを得て、事業を進めることや、制度の利用の増減、寄付金などあつて、補正が必要になります。

#### 【委員の意見】

①交付金を活用して、西・東憩の家や屋根の改修やマッサージ機などの備品購入がされますが、カラオケの機械がかなり古いシステムのもので、高齢者には使いにくく、管理も大変なことから、改善が必要ではないか。

②障がいをお持ちの方が高齢

化してくることで、各事業費用の増加などがあるのので、今後の動向を見通した財政計画と予算編成が必要である。

③保育所の給食の調理・洗浄業務を委託するための債務負担行為補正が追加されていることについて、離乳食、アレルギー対応食など、0歳からの子どもに対応するためには、これまでどおりの調理が契約で担保されるのか。

◎議案第41号 平成23年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について

給付費の決定があり、変更すべき補正が生じました。

#### 【委員の意見】

①ひとり当たりの医療費が県の平均を上回る傾向がある。高齢化に伴う今後の動向を踏まえ、予防と対策に、さらに努めてほしい。

②朝と夜の診療報酬の違いなど、診療報酬の改定が行われていることなど、一般的に知られていない。改定に伴う周知に努めてほしい。

◎議案第42号 平成23年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

社会資本整備総合交付金が減額されたことや、岡本汚水幹線の入札が行われて事業費に変更が生じることになりました。

#### 【委員の意見】

①継続補正の変更について、岡本汚水幹線の低入札調査価格での落札により、変更されたものだが、3年間の費用割が当初の見込みと同じパーセンテージでよいのか。金額が大幅に変更されたことによる工程、工期どおりの積算になつていないのではないか。

②社会資本整備総合交付金の減額の内容と今後の動向についてなど、今後の財政計画に影響が出てくるのではないか。

◎議案第43号 平成23年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

人件費以外のものはなく、委員からも特に意見や質疑はありませんでした。

◎議案第44号 平成23年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)について

人件費以外のものはありませんでした。

#### 【委員の意見】

台風12号の被害により、支援のため職員を派遣したが、それらの経費はどのような取扱いになつているのか。

以上のような意見や、さまざまな質疑はありましたが、5議案すべて、委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

閉会中の委員会では、主に継続審査案件を議題として、町からの報告を受けて一定の審査をします。それで、「予算補正を必要とする事務事業について」を継続審査とする手続きを委員会の中で確認して決定します。(議会にはいろいろルールがあり、これをしておかなければ、閉会中に委員会を開くことができません。)

(里川委員長記)

# 災害のないまちへ、願い届け

斑鳩町消防団出初式が1月5日に開かれ、消防団員の皆さんが集結しました。

式典では、消防団活動に長年尽力し功績のあった団員の方々が表彰を受けられたあと、寒風の吹くなか、消防団員の皆さんが力強く分列行進されました。

そのあと、竜田川河川敷で実施された一斉放水では、勢いよく水のアーチが描かれ、参加者全員が1年間の無災害と消防団の発展を願いました。



▲竜田川での一斉放水。



▲堂々とした分列行進。



▲平成23年12月に更新された第3分団ポンプ車。

## 編集後記

「新年を迎え、もう1カ月が過ぎましたが、新年にかけた願いを成就するための精進は継続できていますか。

阪神・淡路大震災から17年が経過し、東日本大震災の発生から1年を迎えようとしています。

当時の思い・決意を忘れず実行し、地域のコミュニケーションによる安心な町づくりを努めてまいります。



東大寺二月堂の修二会は、平成24年で1261回を数える。東大寺のながい歴史にあって、「不退の行法」として、1250有余年もの間一度も絶えることなく、今日にいたるまで引き継がれてきた。

それは修二会の儀式が天下泰安、五穀豊穰、万民快樂など、人々の幸福を願う行事とされてきたからだそうだ。

日本の総理大臣が「不退転

の決意」で財政再建や国会議員の定数削減も行うと明言。いま問題を先送りにするば、若者が高齢者になるとき、安心できる社会が築けているのか。

総理が示す不退の意味によつては、先々の世代に引き継がれる社会が変わりそうだ。



法隆寺のお会式まで、寒い日々が続くといわれています。どうか体調管理には十分に気をつけていただき、暖かい春を迎えられますようお祈り申しあげます。

(小林委員長記)



### 広報発行常任委員会

委員長	小林 誠
副委員長	紀 良
委員	中川 靖
委員	坂口 善
委員	辻 次